

# 平成16年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	3	学校名	県立高萩工業高等学校					課程	全日制		学校長名	細貝 国昭				
教頭名	鈴木 幸男										事務長名	平野 義夫				
教職員数	教諭	20	養護教諭	1	常勤講師	8	非常勤講師	5	実習教諭, 実習講師, 実習助手	7	事務職員	2	技術職員等	2	計	45
生徒数 (4月1日現在)	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	工業学科	65	1							65	1	3				
	機械科			59	0	48	2			107	2	4				
	電気科			39	0	25	0			64	0	2				

## 2 目指す学校像

一般教養と工業に関する専門知識・技術との調和を基に、一人一人の生徒が、よい社会人、よい工業人となることができるよう、また、生徒が将来も自らの向上につとめられるような基盤を育成する。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項目	現状分析	課題
学習指導	生徒の学習意欲が十分でなく、家庭などでの自学自習時間が少ない。	学習する習慣の定着
進路指導	80%以上が就職希望であるが、求人が少なくて厳しい。	望ましい勤労観、職業観の育成と主体的進路選択の能力をいかにつけるか。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立や規範意識が十分でない。	規律ある学生生活と規範意識をどう身につけさせるか。
特別活動	ホームルーム活動、生徒会活動、部活動への参加意識がうすく、活動が低調である。	自主的で活発な取り組みをどう推進するか。
資格取得	資格取得希望者は多いが、補習参加者も含めて取得しようとする努力が不足している。	補習参加も含め目標に向かっていかに努力させるか。

## 4 中期的目標

- 1 生徒自らの意欲的な学習を促すため、個に応じた指導を深め、教育内容の改善を図る。
- 2 基礎・基本を確実に身につけさせ、新しい場に適応できる意欲・実行力を育てる。
- 3 よい社会人・工業人となれるよう、自主性・積極性とともな豊かな人間性を培う。
- 4 本校の誓「より強く、より高く、より広く」をモットーとして、向上意欲を育み、困難に辛抱強く対処出来るよう、逞しい気力・体力を養う。

## 5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具 体 的 目 標	達成状況
1年次 (H16)	基本的生活習慣の確立	共通理解に基づいて、全職員により、容姿・挨拶・マナーなどの指導をする。	
	基礎的・基本的学習内容習得の推進	「わかる授業」を目指した授業研究を行い、また、反復学習、補習などにより基礎的・基本的内容の定着を目指す。	
	学校の活性化	全員部加入の推進と生徒の自主性を尊重した学年行事の企画・運営などによりホームルーム活動、生徒会活動、部活動を活性化して学校を元気にする。	
2年次 (H17)	規範意識の確立	全校集会や学年集会で、教員、生徒、社会人などの話を聴くことや、ホームルームでのワーキングを通して育む。	
	勤労観・職業観の確立	工場見学、インターンシップ、卒業生との対話、進路相談、ガイダンスなどを積極的に行い確立を図る。	
	ホームルーム活動、部活動の活性化	生徒の自主性を尊重した学年行事の企画・運営を目指す。	
3年次 (H18)	資格取得の推進	進路を絡めたPRや取得指導の専門部化なども考えて取得者を増やす。	
	進路指導の充実	進路資料「進路のしおり」の活用、インターンシップの推進、面談やガイダンスの充実で自主的進路選択能力を育む。	
	ホームルーム活動、部活動の推進	ボランティア活動、生徒の自主性を尊重した学年行事の企画・運営	